

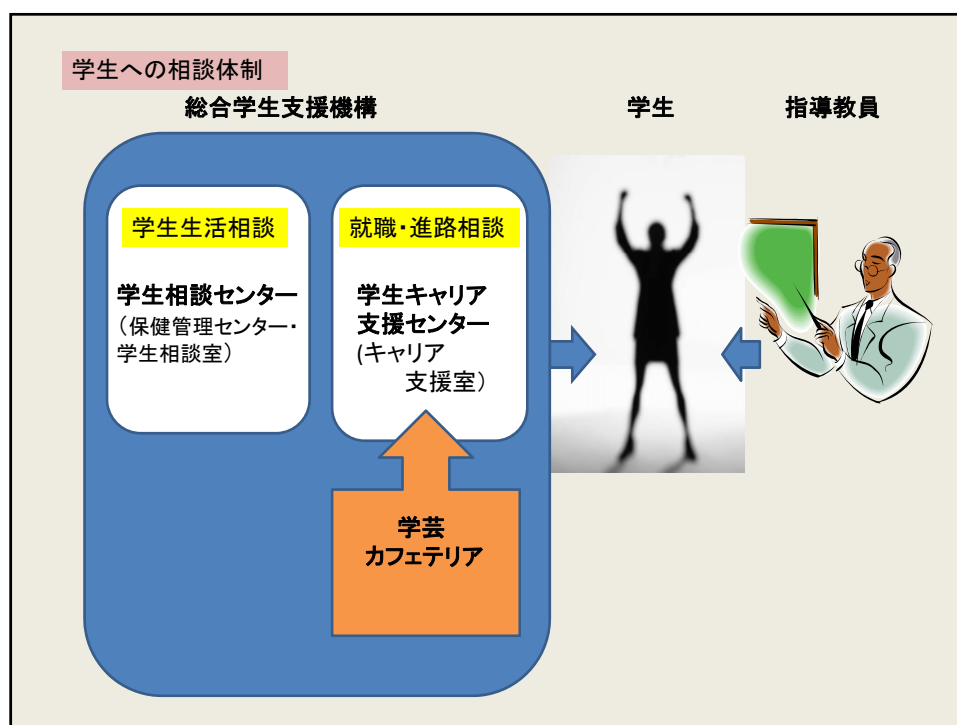
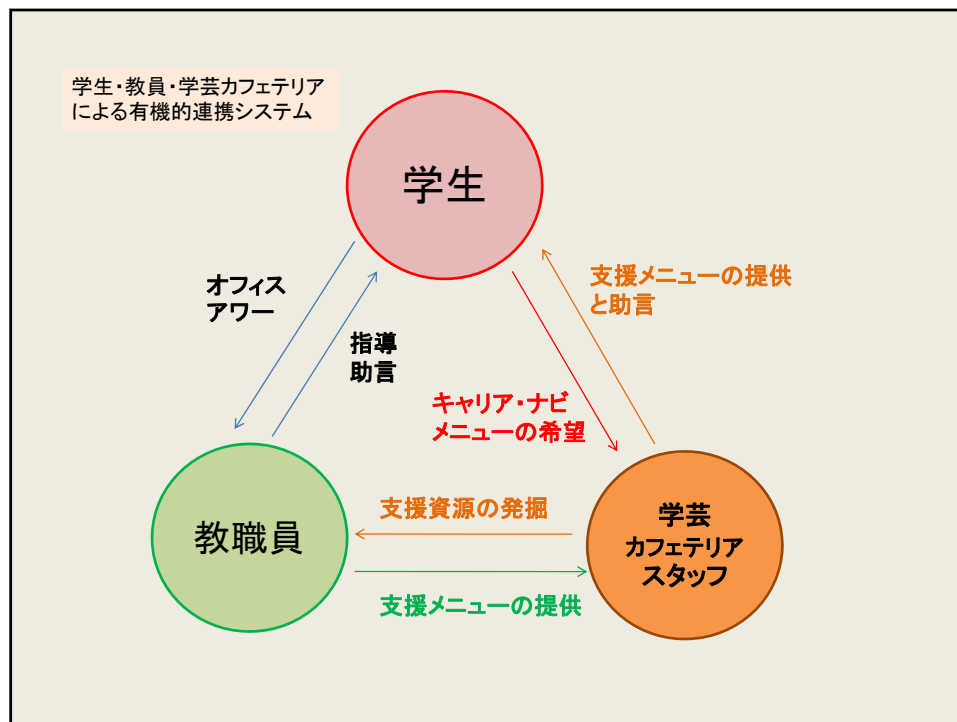
平成20年度「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」意見交換会
2009. 2. 13

東京学芸大学
学芸カフェテリアによる
学修・キャリア支援
—全学の援助資源の活用と
最適化された学生支援プログラムの開発—

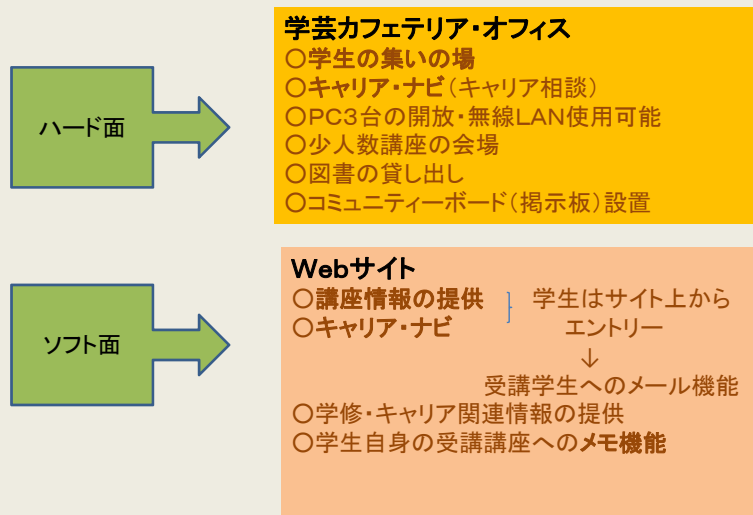
発表者 東京学芸大学 特任准教授 番田清美

学芸カフェテリア・オフィス





学芸カフェテリアの支援体制



学芸カフェテリア運営における3つの柱

- ・メニュー(講座)の開設
- ・Webサイトの構築
- ・キャリア・ナビ

それでは、
学芸カフェテリアの Webサイトを
ご覧ください。







2008年度 学芸カフェテリア開講講座数

	前期	後期	合計
開講講座数	14	34	48
(うち学内 教職員担当)	(11)	(28)	(39)

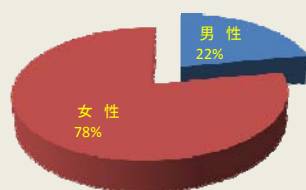
開講講座	前期	後期	合計
学修支援 メニュー	4(4)	18(17)	22(21)
キャリア支援 メニュー	10(7)	16(11)	26(18)
	14(11)	34(28)	48(39)

2008年度 学芸カフェテリア講座参加者
(2008年5月～12月)

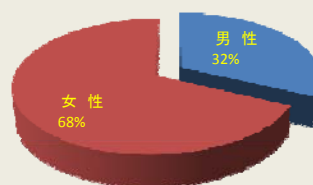
	前期	後期	総数
講座参加者 延べ人数	249	833	1082
(教員養成課程・学部生)	(142)	(430)	(572)
(新課程・学部生)	(86)	(320)	(406)
(その他・大学院生、留学生)	(21)	(83)	(104)
2008年10月1日現在 学生数	教育学部 大学院教育学研究科(修士課程)		5050 729

講座参加者の男女の推移

前期講座参加者の男女比

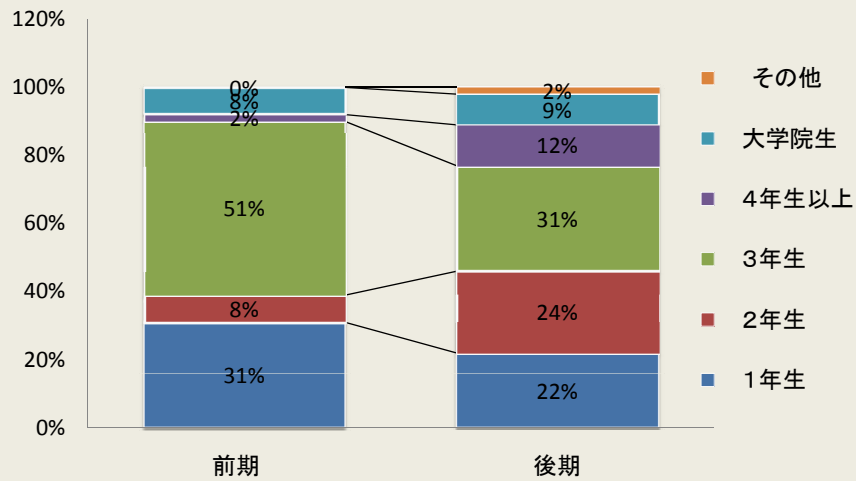


後期講座参加者の男女比



女子学生の参加比率が多い
⇒男子学生の参加率を上げることが今後の一つの課題でもある

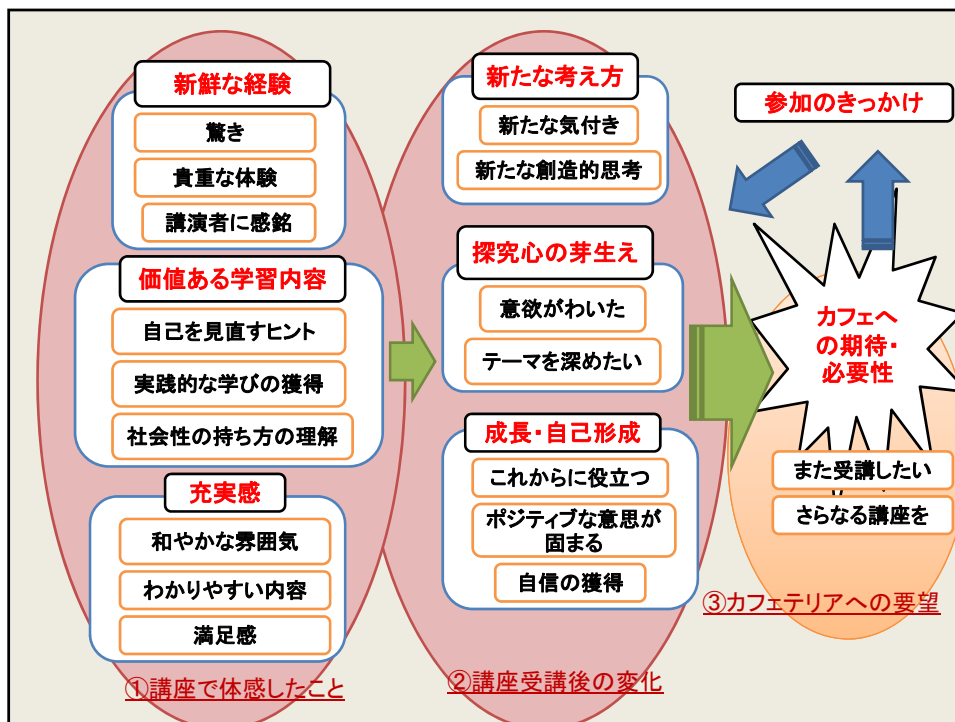
参加学年の比率の推移



⇒後期に入って全学年に認知され、利用されるようになった

学芸カフェテリア講座 ～意義と期待～

講座受講生の
自由記述式感想文より分析



①講座で体感したこと・具体例

新鮮な経験

- ・講座で得たことで驚きを感じた
- ・普段は聞けないような分野の話を聞いた
- ・先生の姿勢に感銘を受けた

価値ある学習内容

- ・自分の活動の振り返りの観点のヒントを得た
- ・実践的な内容を身をもって体験できた
- ・アイデアの共有の大切さを知った

充実感

- ・和やかな雰囲気だった
- ・就活をしているので、とても参考になった
- ・何も知らない人にも分かりやすい内容だった

②講座受講後の変化・具体例

新たな考え方

- ・自分の知らない新しい視点をえることができた
- ・一歩前に進めてたことによるポジティブな迷いが生まれた
- ・「普段の自分の姿」が大切だと実感した

探究心の芽生え

- ・もっと真剣に調べてみようと思う
- ・この講義を活かしてみたい
- ・今日学んだことを活かして、自分なりに比較してみたい

成長・自己形成

- ・今後の自分に生かせることができる
- ・今までの自分の世界にとらわれない
- ・揺らいでいた気持ちが確かになった

③カフェテリアへの要望(具体例)

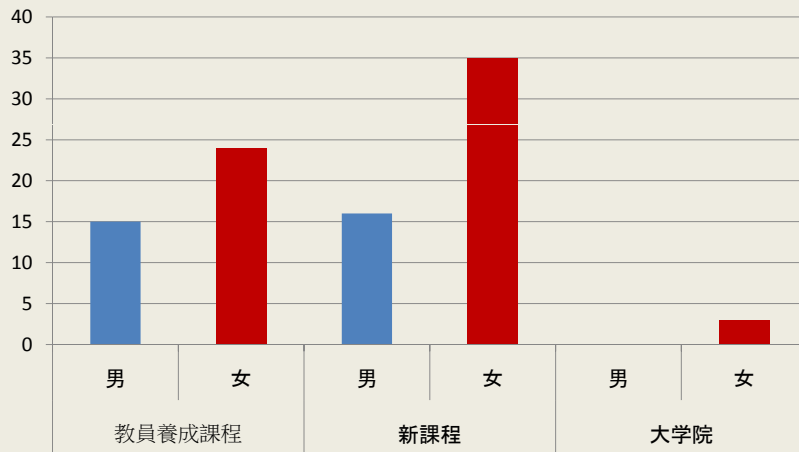
- ・他分野の講義や、
なかなか講義をうけられない先生の講座を受けたい
- ・講座をシリーズ化して、ワークショップ形式に
- ・カフェテリアをもっと利用して、
自己のスキルアップに役立てたい



カフェへの期待・必要性

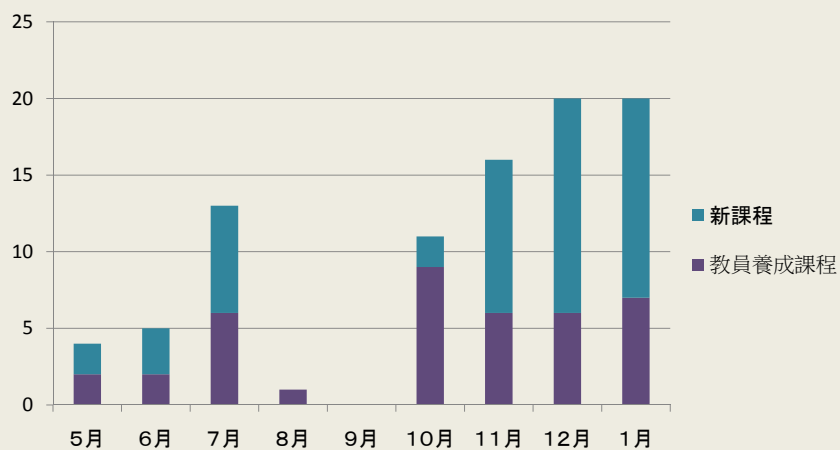
キャリア・ナビ件数①(所属、男女別)

2008年5月～2009年1月



延べ件数91件(男性30件、女性61件)
教養系の女性の利用者が多い

キャリア・ナビ件数②(所属、月別)



教養系の学生が増え、相談内容は幅広いものになっている
⇒キャリア・ナビの需要も今後増加していく可能性が高い

○カフェ・メイツ活動 学生スタッフの活躍

○広報活動
バナー制作 美術科・学生の協力
スタンプカード & 支援My Note



今後の課題

- 学生に必要なメニュー(講座)
の開設
社会情勢に対応
- 学内に潜在する資源(教職員)
のさらなる開拓

ご静聴いただき、
ありがとうございました。

東京学芸大学
「学芸カフェテリアによる学修・キャリア支援」
2008 年度の取り組みについて

2008 年 5 月から、学芸カフェテリア・オフィスがオープンし、同時に Total System 内に構築した Web サイトの運営も始まった。

特に重点を置いた部分は、①講座の開設 ②Web サイトの構築 ③キャリア・ナビ（キャリア相談）である。また、副次的な活動も、学芸カフェテリアを活性化させる効果を生んだ。④として示す。

①講座の開設

支援メニューを「学修」と「キャリア」の 2 つに分けた。「学修支援メニュー」では学生生活の充実と自分磨きに役立つ講座を、「キャリア支援メニュー」では就職をはじめとする将来設計に役立つ講座を提供している。

前期には 14 講座、後期には 34 講座を立ち上げ、年間合計 48 講座の開設となった。そのうち、「学修支援」講座は 22、「キャリア支援」講座は 26 と、バランスを考慮した。

また、講座の講師は、学内の教職員が 48 講座中、39 講座を担当した。学内に潜在している「見えない援助資源」を「見える化」できつつあると言える。つまり、本学の多様な研究分野の教員や、経験豊かな事務職員の人的資源を、学生支援に有効に活用することの実現化が始動した。

学生は、自己意思で講座を選択することで、自分に最適な講座に参加できる。学生の所属する「専攻」という垣根を超えた、興味分野の知識獲得ができ、普段接する機会のない教職員や学生同士の交流も可能となった。

②Web サイトの構築

当プロジェクトは、オフィスや講座といった「ハード面」で学生を支援する一方で、Web サイト上に情報をすべて立ち上げ、学生が好きな時にいつでもアクセスできるという「ソフト面」も、支援の支柱となっている。

学生は、サイトから講座への登録や、キャリア・ナビの予約ができる。また掲載されている約 40 の情報コンテンツから、必要な情報を得ることができる。講座やガイダンスなどは、学芸カフェテリア主催行事だけではなく、学生キャリア支援センター主催行事や他のプロジェクト主催行事もコンテンツ化し、「学内情報の統合化」にわずかではあるが歩みを進めることができた。

講座の登録者には、スタッフからメール送付をすることができ、学生とスタッフ双方向の連絡が可能である。「メールマガジン配信」登録者には、講座情報などのメール配信を行った。

終了後の講座は、写真と感想を交えて、トップページに公開される。出席していない学生も、講座の模様を確認することができ、次回の講座出席への動機づけとなった。

③キャリア・ナビ

キャリア形成などに対する学生の悩みに、スタッフが3名体制で相談に乗った。相談は個別に行われ、その件数は、後期になると3年生を中心に大幅に増加した。エントリーシートの添削などの、実践的な相談も受けている。

④その他

(1) カフェ・メイツ活動

○ カフェ・メイツ

5月に講座をスタートしてから、学芸カフェテリアに興味を持つ学生モニターを募ったところ、7名（全員女性）が立候補してきた。学生支援活動に積極的に関わる意欲に満ちた学生たちである。単にプロジェクトを体験して意見を述べるモニターではなく、講座の司会進行を支える重要な学生スタッフと成長していった。プロジェクトの運営に関わることで、彼女たちのキャリア形成を大きく促したと言える。

○ カフェ・メイツ会議

2月に開催し、今後の改善点など、学生の視点からの活発な意見がでた。学芸カフェテリアの活動に、極力取り入れていくつもりである。

○ プチカフェ

カフェテリアという名前でありながら、飲み物が置かれてないことが、やや学生たちの不満ではあった。後期に、カフェ・メイツの運営で、セルフサービスのドリンクバーが設置された。学生が自由に集まり、会話を弾ませる場としての学芸カフェテリア・オフィスの機能に、大切な一役を担っている。

(2) 広報活動

○ バナー制作

前期は、スタッフがPCでポスターを作成していたが、後期は美術科の学生に依頼した。2mほどの縦長の布に、講師の写真とイラストを組み合わせたデザイン性の高いバナーが、毎回の講座ごとにできあがり、学生や教職員の目を惹いた。講義棟に設置することで大きな宣伝効果を生み、学生の参加が増加した。製作している美術科の学生にとっても、自己の作品を学内に展示する機会となり、キャリア形成の促進に繋がった。

○ スタンプカード

講座のチラシを、参加の動機づけのために有効に作成できないかという発想から、講座を列記したカードを「スタンプカード」として制作した。講座参加者は、

参加ごとにスタンプを押印してもらい、5 つの講座に参加すると、特典をもらえる仕組みにした。

特典は、ささやかながら、キャリア意識を高めるサポートになるものもいいであろうという話し合いが持たれた。そこで、携帯電話の大きさほどの、カレンダー付きのメモ帳「支援 My Note」を制作した。中には、キャリア形成のための自己分析表などが掲載されている。

(3) オフィス環境の充実

○PC の設置

学生には3台のPCを開放している。また、キャリア相談用に仕切ったブースにもPCを1台設置している。また、オフィス内では無線LANが使用できるため、自分のPCを持ち込んで作業をしている学生も多い。

○貸出図書

学芸カフェテリアでは、キャリア形成・就職関連・自己啓発などの本を、500冊ほど所蔵している。そのほとんどを、学生に2週間の期限で貸し出している。

今後の課題

100年に一度の大不況と言われる社会背景を受けて、学生は時代に不確定性を感じ、それゆえにキャリア支援を求めている。新年度、学芸カフェテリアでは、時代を見据えた講座づくりに力点を置き、「仕事を知るシリーズ」「自己表現シリーズ」等を立ち上げていくことにした。しかし、単なるノウハウ的な講座にしてはならない。学生たちが自己責任で考え・行動し、「学芸カフェテリア」をきっかけのひとつとして将来を開拓する力を養うことができるよう、学内の教職員力・OG・OB力をさらに発掘し、魅力のある運営に取り組んでいきたい。

文責・番田清美